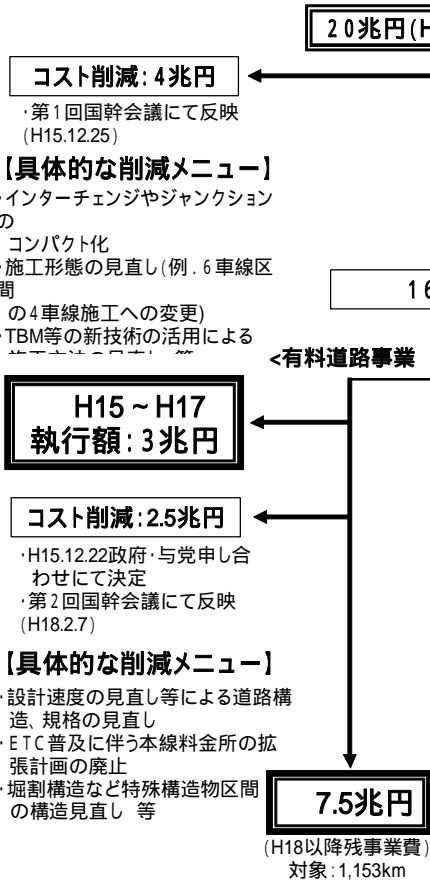


高速道路の借金は更に 十兆円膨らむこと!!

平成一六年一月、衆議院本会議代表質問で私から首相に「高速道路は殆ど全部作ることになり、四〇兆円の道路公団の借金は拡大するのではないかと」と聞くと、「拡大しない」と首相は言明。それでも引き下がらず再質問。首相は言明。

この一月、日本高速道路保有・債務返済機構のヒアリングを行いました。ちょうど二月七日の国土開発幹線自動車道建設審議会が開かれ、結局、計画路線九三四二kmは殆どが建設されることになりました。新直轄方式三兆円は、政府と自治体で建設するもの。そして民営化会社が建設するのが表の有料道路

表 「コスト削減と事業費のイメージ」



路事業のうち平成一五年から一七年の三兆円と平成一八年以降の七・五兆円の計一〇五兆円であること。そこで機構職員に新たな建設費は利息や管理費をのぞいても一〇・五兆円になることを聞くと、「借金は返済で減った分が増えるので四〇兆円以上には増えないのだ」という詭弁には、思わず耳を疑いました。

選挙が終われば 負担増!

この一月から定率減税年間三兆三千億円の所得税・住民税の減税を六年間実施(が半減され、サラリーマンの皆さんの給与明細書の所得税は跳ね上がりました。六月には住民税が上がり、来年には定率減

税全廃によりさらに上がります。サラリーマン増税はしないという自民党選挙公約に反するものです。この他の負担増は表をご覧下さい。例えば、高齢者医療費は高額所得者の医療費が、この秋から二割から三割に引き上がります。高齢者の医療費も再来年から一割が二割に引き上がります。

表 2006~家計の負担増

2006/01	所得税の定率減税半減	最大 25 万円の減税幅が半減
04	障害者の福祉サービス利用の自己負担増	
06	住民税の定率減税を半減	最大 4 万円の減税幅が半減
07	たばこ税の引き上げ	一本あたり約 1 円の値上げ
09	厚生年金保険料率の引き上げ	17 年度の 18.3% まで毎年アップ
10	70 歳以上の高額所得者の医療費負担増	2 割から 3 割へ
	70 歳以上の長期入院者の食住費負担増	
	高額医療費の自己負担引き上げ	定額部分 72,300 円が 80,100 円にアップ (70 歳未満、一般的所得の場合)
2007/01	所得税の定率減税の全廃	現在に比べ最大 25 万円の負担増
06	住民税の定率減税を全廃	現在に比べ最大 4 万円の負担増
2008	70~74 歳の患者負担増	中低所得者窓口負担 1 割から 2 割へ

また、自民党税制調査会は例年一二月に開催する総会を前倒して三月三日に開催しました。自民党税調会長も消費税がどのみち議論の中心と述べ、三年前に消費税の将来二桁化を提言した政府税調

もすでに審議入りしています。民主党は「行革なくして増税なし」を掲げ、これから始まる「行革国会」に臨みます。その議論を通じ「行革は進んだのか」「独法のように国庫に返されるべき資産が遊んでいないか」などを指摘検証してゆきます。

私は衆議院議員初当選以来、小泉内閣に対して「国民に痛みをという国民とは、族議員や縦割り官庁や業界団体・特殊法人であって、一人一人の国民に安易に負担を求めてはいけない」と主張してきました。九月に交代する小泉内閣が今ちょうど五年、その総括をするべく後半国会に臨みます。

衆議院議員

たけまさ公一

Takemasa Koichi プロフィール

昭和36年生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高、慶応義塾大学法学部政治学科卒。松下政経塾(5年間)卒業。平成7年、埼玉県議会議員初当選。平成11年、埼玉県議会議員2期目当選。平成12年「国政・新時代!」を掲げ、衆議院議員選挙に初当選。平成15年、17年連続3期当選(小選挙区)。衆議院では、外務委員会筆頭理事、民主党では選挙対策委員長代理、次の内閣(=NC)外務総括副担当、埼玉県連幹事長。